

八月二十日午前十時
席の下に、軍政府官臨
動和歌山縣地方本部を
結成し、縣下の救國運動
としての納稅運動が大
きく展開されることにな
つた。當日本部長と
して内田縣議會議長の
挨拶及び役員の任命が
あつた。尙部長の挨拶
要旨は次の如くである。
前刻承知の如く、國に
於ても縣に於ても、窮
迫すればする程、復興
更生費とか、貧困者救
助費とか、或いは物資資
統制費や統制監察費な
どと、通常經費以外の
厖大な經費が必要を生
じ、インフレの昂進と
併せて、國の本年度の
豫算は四千億に達し、縣
も現在豫算は十二億で
あるが、年度末には二
十億になるのではない
かと思われ、市町村豫
算も又大きくな額され
てゐる。

期 端 境 の 大 最

本米穀年度後二ヶ月は昨年度に比し長足の好轉はしてゐるもやはり最大の端端期であり、幾他の困難を豫想せねばならぬに表の需給計畫は現物の裏付の大体確實なものであるが本縣の切抜算としては異常に迄縣内産甘藷諸に大いに頼らねばな

ゼイは身を助ける？



通課原書所松秘人慶所刷士鑄
發行市縣愛森樹印刷士鑄
和歌山縣印刷士鑄
和歌山市縣愛森樹印刷士鑄
編集兼森樹印刷士鑄

和歌山縣地方本部の結成

本米穀年度　らないであろう。
税收入は約三億で前
度の約三倍半に達し
てゐる、市町村税も夫
を考察するに足る
この巨額の税金が、
縣民の生活に及ぼす
影響を考慮するに足
る。本年度の諸税の
増徴を到縣の情勢と
併せて、本年度の
税收入豫算は約二千
百億で前年度の二倍
である。

お諸嫌いに赤信号

| | 8月 | 9月 | 10月 | |
|----|--------------------------------------|--|---|--|
| 供給 | 7月ヨリ持越 麥買入 馬鈴薯買入 輸入食糧 合計 | 48.800石 26.700〃 3.100〃 15.120〃 93.720〃 | 8月ヨリ持越 早掘甘藷買入 輸入食糧 合計 | 41.220石 6.100〃 18.900〃 66.220〃 |
| | | | 9月ヨリ持越 甘藷買入 新米買入 縣外米移入 輸入食糧 合計 | 13.220石 15.000〃 1.500〃 20.000〃 4.100〃 53.820〃 |
| 消費 | | 52.500石 | 53.000石 | 76.000石 |
| 差引 | + | 41.220石 | + | 13.220石 22.180石 |

九月、十月の食糧事情

政治資金規正法について

地方課長 寺本 駿

御希望の題目がありました
ら御知らせ下さい。多量のものから順次掲載いたします

かくてこそ
正しく明るい教育委員会
和歌山縣
本年は縣のみにおかれ
る豫定であつた教育委員會が、希望する市町村にも許されることに
變更された。民間人に
よつて教育事務が行わ
れることになつたのは、
大躍進であり、民主的
に運營されるならば、
必ず教育が復興され
ることになる。和歌山縣となる。
教育委員會の制度は、
教育の民主化、教育の
地方分權、教育行政の
独立を目指すものであ
り、土地の實情に即し、
超越して教育のため努
めることとする。それで
あるから、教育委員と
なるものは、教育に對し
ての深い知識と熱情を
もちあわして、名利を
公共團體の議會の議員及
びその長の選舉にあた
つて、一切の寄附をし
てはならない。またこの
らの者から寄附をうけ
たり、寄附を勧誘す
ることも禁ぜられる。
(ホ) 覚書該當者(公
職追放者)も、前項の
選舉について、一切
の寄附が出来ない。ま
た覺書該當者から寄附
をうけたり、寄附を勧
誘することも禁せられ
る。(ヘ) 選舉に關し、外
國の團體から寄附をう
けることと並びに他人
の名義又は匿名の寄附
をし若しくは寄附をう

正し
教育委員会

新生の 事業課

前號既報の事業課が八月二十七日誕生し、愈々縣民の期待に応えて新發足する事に即日課長及び係長の人事發令があつた。その活躍によつて成績の大きいなるを極つて止まない、尙ほ事發令は次の通りである。

○總務部事業課長 楠木
（庶務課課長）根來 主
○全 事業係長
（庶務課議事係長）宮崎敬太郎
○全 農務課事務係員
（農務課事務係員）義的場

かう合はさで十の公と対面したが、これはどうしてか、彼の手には十の公の印がある。彼はそれを差し出しながら、「この印は、この十の公の印です。」と述べた。すると、十の公は驚いて、「なぜあなたがこの印を持っていますか？」と尋ねた。彼は答えた。「私は、この十の公の一人であることを証明するためです。」

